



2021年9月1日

各 位

三重県保険医協会

運動の取り組みについて

6月3日、WEBで保団連国会行動が開催された。三重協会から鶴飼・梅村各副会長、横山理事が参加した。

保険でより良い歯科医療を実現しようという思いと共に集会に参加した。全国連絡会会長雨松さんが「コロナ禍で患者さんと歯科医療従事者が手を取り合って歯科医療危機打開を」と挨拶。宇佐美保団連歯科代表が、コロナ禍での歯科医療の危機と役割、歯科技工所の経営難、歯科衛生士の低評価、金パラ問題の解決などを基調報告した。

会場からは、子どもの歯科矯正を保険に入れてほしいなどの発言があった。

全国でウェブでは117か所、現地では4社・4人のマスコミ関係者、4人の国会議員を含め約100人の参加があり、堀憲郎日歯会長はじめ7道県歯、2県衛生士会、3県技工士会、3技工士学校から賛同メッセージをいただき、4人の国会議員が参加し、1238筆の歯科署名の第一次分を提出した。

引き続き「#医療費窓口負担2倍化止める」緊急集会にWEB参加した。

厚労省自身が受診抑制を認めるこの法案。国民の多くがコロナ禍で生活が厳しくなる中、社会保障費を削り、国民負担を増やすのはまさに愚策である。集会当日の午後に2倍化法案が参院厚労委員会で強行採決されたことに怒りを覚える。

また二つの集会前後で本村伸子衆院議員（共）、岡田克也衆院議員（立）と懇談し、金パラはじめ歯科の諸問題や受診抑制につながる窓口負担2倍化阻止について要請した。

（三重県保険医協会副会長・鶴飼伸）

以 上